



都市住民との共同で資源保全

平地農業地域

キーワード

保地
全域
管
理
源
の

かなんせいぶのうくうかんほぜんきょうぎかい おおかふみなみかわちぐんかなんちょう

河南西部農空間保全協議会（大阪府南河内郡河南町）

- 河南西部農空間保全協議会は、平成16年度に完成した農地開発区域内で活動している。
- この活動により、施設の維持管理が活動開始以前は土地所有農家のみであったものが、平成28年度には都市住民の体験農園者も作業に参加することになり、所有者の3倍の人数で維持管理することになった。
- これにより、水路の土砂上げで終わっていたものが、点検まで行き届くようになった。

【地区概要】

- ・取組面積47ha
(田7.5ha、畑39.5ha)
- ・資源量 開水路7.7km、
パイプライン10.1km、
農道3.4km
- ・主な構成員 土地改良区、農事
組合法人、自治会、
水利組合
- ・交付金 約102万円 (R02)

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、昭和57年から実施した農地開発事業の区域で実施しているため基盤整備は出来ているものの、当初に出来上がった施設の老朽化が目立ち始めてきている。
- また、土地所有者の高齢化、後継者の農業に対する意識の希薄などが問題となっていた。



陥没している農道



土砂が堆積した水路

取組内容

- 水田には水利組合があり、定期的に維持管理出来る組織があるが、畠地には組織が無いため他人任せになっていた。そこで、畠地にも管理組織を作り対象者全員で維持管理するように取り組んだ。
- 高齢土地所有者の農地や耕作管理が出来ない農地を都市住民に体験農場として貸出、遊休農地の未然防止とした。



畠灌漑部会区画表



都市住民による
体験農業

取組の効果

- 畠地に管理組織を発足させることにより農業に無関心な後継者も水路清掃に参加することで農空間の保全への関心を高めている。
- 水路清掃箇所を細分化したことにより農家の分担は増えたが、その分体験農園に参加している都市住民も清掃に加わることで絆が深まった。
[参加者 当初約75名 現在 約250名]

土地後継者も参加した
清掃活動



都市住民も参加した
清掃活動